

第1回アカデミアサロンを開催



Nippon Hospitality & Tourism Academia

日本ホスピタリティ観光学会では、6月30日(月)にアカデミアサロンを開催しました。

アカデミアサロンは、観光業における最新情報を提供しながら、産学の垣根を取って、活発な議論をする機会を提供するものとして、本学会では位置づけています。
会場はサードプレイスとしてのカフェを研究する上田真弓会員が毎回セレクトした場所で開催します。

第1回目のテーマ「観光業界紙誌のこれから」。

3月に旅行業界誌の雄、創刊60年の「トラベルジャーナル」が休刊に。

旅行業をはじめ観光関連産業がパラダイムシフトを迎え、且つオンラインメディアが台頭する中、旅行関連媒体も正念場を迎えています。

今回はゲストとして、

観光経済新聞: 森田淳編集長と旅行新聞: 増田剛編集長をお迎えしました。

両編集長に媒体の編集方針をお話頂いた後、参加会員とともに「紙媒体に関する期待」「ネット媒体との差別化」等について意見交換をしました

終了後は会員同士の名刺交換等懇親の時間も持ちました。

今後も本学会ではアカデミアサロンを定期的に行う予定です。

(日本大学 矢嶋敏郎)

